

《肩関節周囲炎》症例報告

ーテクトロン使用によるー

発表者

琉球大学医学部整形外科教室

ご 挨拶

発表に当たり、琉球大学医学部整形外科教室、金谷文則助教授及び理学療法室の諸先生方に多大なご協力を頂きましたことを、深く感謝しお礼申し上げます。

尚、別紙20例は、平成7年2月より同年12月迄の間に収集した臨床報告書です。

株式会社 テクノリンク

担当医師 金 谷 文 則

記入年月日 1996年12月

患者名	C. A	性別	男	年齢	63才
病 名 及 び 所 見					
右肩関節拘縮（不全肩板損傷）					
※ テクトロン使用前の簡単な治療経過					
H 8. 8 頃より痛み増す 可動域はさほど悪くないが力が入らない。 強いて言えば、服のボタンがかけにくい。（内旋に制限）					
※治療効果及び評価. A. B. C. Dの4段階評価。 ※A～非常に良い. B～良い. C～どちら共不明. D～効果無し.					
プログラムは#テクトロン、#2ホットパック、#3可動域訓練を行っている。 筋力的にはあまり回復していないが、ジリジリ感は#1, 2をすることでやや改善。 「気持ちがいい」					
⑧					
治療回数	5回	総 評			
除痛に有効であり、スムーズに可動域訓練を開始できる。					

担当医師 金 谷 文 則

記入年月日 1996年12月

患者名	K. Y	性別	男	年齢	35才
病 名 及 び 所 見					
左肩板損傷（不全）、肩こり					
※ テクトロン使用前の簡単な治療経過					
H 7. 12. 25 スキーにて左肩受傷。 当初、可動範囲半分ほどしかあがらず痛みが強かったが、徐々に可動範囲は回復。 しかし、肩関節屈曲の最大可動範囲や外旋、内旋時に強い痛み、手が挙上しにくく、三角筋代償である。 又、若い頃より強い頭痛、肩こりを自覚しており現在ミオナールを処方中。					
※治療効果及び評価。 A. B. C. Dの4段階評価。 ※A～非常に良い。 B～良い。 C～どちら共不明。 D～効果無し。					
肩こりに対しテクトロンは「気持ち良い」との事。 左肩に関してはテクトロン後の方が痛みが少なく運動しやすい。 肩こりの血行改善には効果的と本人は言っている。					
⑧					
治療回数	13回	総 評			
除痛に有効					

担当医師 金 谷 文 則

記入年月日 1996年12月

患者名	N. S	性別	女	年齢	22才															
病 名 及 び 所 見																				
左肩峰骨折、棘上筋部分断裂																				
※ テクトロン使用前の簡単な治療経過																				
H 8. 4. 30 バイクによる交通事故にて負傷 保存的に治療していたが、6. 10より理学療法部へ紹介された。 当初よりテクトロン使用。																				
※治療効果及び評価. A. B. C. Dの4段階評価。 ※A～非常に良い. B～良い. C～どちら共不明. D～効果無し.																				
<table> <tr> <td>テクトロン前の可動域</td><td></td><td>後</td></tr> <tr> <td>肩関節屈曲</td><td>120</td><td>130</td></tr> <tr> <td>外転</td><td>85</td><td>90</td></tr> <tr> <td>内旋</td><td>20</td><td>20</td></tr> <tr> <td>外旋</td><td>25</td><td>25</td></tr> </table> テクトロン後の方が動作時の痛みが少ない。 ⑧						テクトロン前の可動域		後	肩関節屈曲	120	130	外転	85	90	内旋	20	20	外旋	25	25
テクトロン前の可動域		後																		
肩関節屈曲	120	130																		
外転	85	90																		
内旋	20	20																		
外旋	25	25																		
治療回数	13回	総	評																	
除痛と可動域改善に有効																				

担当医師 金 谷 文 則

記入年月日 1996年12月

患者名	S. N	性別	女	年齢	54才
病 名 及 び 所 見					
右肩上腕二頭筋炎、右肩拘縮 既往 糖尿病					
※ テクトロン使用前の簡単な治療経過					
治療はH 5. 8. 6より、外旋、内旋に制限、疼痛 ホットパック、可動域訓練、H 5. 8. 6～8. 26迄 H 8. 1. 25より再来。痛み拘縮増加 肩関節屈曲170°、外転120°、外旋75°、内旋40°（H 8. 9. 5） 夜間痛増強 レーザー、ホットパック、可動域訓練にて対応。					
※治療効果及び評価. A. B. C. Dの4段階評価。 ※A～非常に良い. B～良い. C～どちら共不明. D～効果無し.					
10月よりレーザーに代りテクトロン使用 テクトロン後の方が可動域訓練の痛みが軽い。					
⑧					
治療回数	25回	総 評			
糖尿に併発した肩関節周囲炎に多くみられるズキズキするような痛み に対し効果があるように思う。					

担当医師 金 谷 文 則

記入年月日 1996年12月

患者名	Y. I	性別	女	年齢	30才
病 名 及 び 所 見					
右肩甲部痛 頭痛					
※ テクトロン使用前の簡単な治療経過					
中学の頃から肩こりが強かった。結婚して出産、子育てで増強、最近頭痛も強くなってきた。 他院での治療経験はない。					
※治療効果及び評価。 A. B. C. Dの4段階評価。 ※A～非常に良い。 B～良い。 C～どちら共不明。 D～効果無し。					
可動域制限はない。 頸部～両肩にかけて強い重だるさ、しびれ、時折頭痛がある。 テクトロン後、ストレッチ指導 ①					
治療回数	2回	総 評			
1 / 2 weekのペースで継続予定。頸部～両肩にかけて強いこりを認めるが、テクトロン後は“肩が軽い”との訴えがあった。血行改善のためと思われる。					

担当医師 金 谷 文 則

記入年月日 1996年12月

患者名	H. K	性別	女	年齢	58才				
病 名 及 び 所 見									
右肩腱板部分断裂 左肩神経炎									
※ テクトロン使用前の簡単な治療経過									
H 7. 12. 18 右肩痛より出現。特に夜間痛が強かった。 12. 19より、リハビリ開始しているが、その後左肩痛も出現。 痛み強いため休職。安静加療、H 8. 4. 17より再開。 <table border="0"> <tr> <td># 1. テクトロン</td><td rowspan="3">} 2 / week</td></tr> <tr> <td># 2. ホットパック</td></tr> <tr> <td># 3. 筋肉トレーニング</td></tr> </table>						# 1. テクトロン	} 2 / week	# 2. ホットパック	# 3. 筋肉トレーニング
# 1. テクトロン	} 2 / week								
# 2. ホットパック									
# 3. 筋肉トレーニング									
※治療効果及び評価. A. B. C. Dの4段階評価。 ※A～非常に良い. B～良い. C～どちら共不明. D～効果無し.									
テクトロンをすると、肩（特に左）のジリジリ感が良くなり、その後の運動もしやすい、との事 リハビリ開始時にはできなかった洗濯物を干す等の動作もできるようになっている。 ⑧									
治療回数	25回	総		評					
除痛に著効									

担当医師 金 谷 文 則

記入年月日 1996年12月

患者名	T. N	性別	女	年齢	64才
病 名 及 び 所 見					
両肩痛（右＞左） 既往 R A					
※ テクトロン使用前の簡単な治療経過					
H 7 より右肩から痛み出現。現在は左にも痛みがある。 肩挙上、外転は最終可動域で痛みあるもののほぼ正常だが、 頭の後ろへの動作や腰に手を回すことが困難。					
※治療効果及び評価。 A. B. C. D の 4 段階評価。 ※A～非常に良い。 B～良い。 C～どちら共不明。 D～効果無し。					
テクトロン使用后、自動可動域の改善が認められた。 「痛みが少なく手をあげやすい」との事。 今後 2 ～ 3 /week 程度通院して続ける予定。					
①					
治療回数	6 回	総 評			

担当医師 金 谷 文 則

記入年月日 1996年12月

患者名	N. M	性別	女	年齢	67才
病 名 及 び 所 見					
関節リュウマチ ①脊椎後弯変形 ②環軸椎亜脱臼 ②の術後 右肩痛、軽度拘縮					
※ テクトロン使用前の簡単な治療経過					
術部以外に右肩痛を訴えたため、ホットパックを施行。 痛み不変なのでテクトロンに変更					
※治療効果及び評価. A. B. C. Dの4段階評価。 ※A～非常に良い. B～良い. C～どちら共不明. D～効果無し.					
“ホットパックより、テクトロンの方が痛みにききそう”との本人の 弁。 テクトロン後の方が動かしやすいとの事 ⑧					
治療回数	8回	総 評			

担当医師 金 谷 文 則

記入年月日 1996年12月

患者名	F. Y	性別	女	年齢	47才
病 名 及 び 所 見					
右肩関節周囲炎 仕事中、重量物を持ち上げた後より右肩挙上困難となる。 夜間痛、運動時痛ともに強い。 可動域制限は1 / 2程度以下					
※ テクトロン使用前の簡単な治療経過					
特になし					
※治療効果及び評価. A. B. C. Dの4段階評価。 ※A～非常に良い. B～良い. C～どちら共不明. D～効果無し.					
仕事上（治療後痛みは低下するものの）重量物運搬頻回なため、痛み再発する。 可動域制限もほぼ変化なし。 ◎					
治療回数	20回	総 評			
疼痛軽減に効果あり。					

担当医師 金 谷 文 則

記入年月日 1996年12月

患者名	T. K	性別	男	年齢	68才
病 名 及 び 所 見					
# 1. 右肩関節周囲炎 # 2. 頸髄症 # 2. 由来と考えられる右上肢シビレ、# 1. による右肩運動痛及び、関節可動域制限を認める。夜間痛も在る。					
※ テクトロン使用前の簡単な治療経過					
なし					
※治療効果及び評価. A. B. C. Dの4段階評価。 ※A～非常に良い. B～良い. C～どちら共不明. D～効果無し.					
可動域改善、及び運動時痛が5回程度の治療で減じた。 シビレについては著変なし ①					
治療回数	11回	総 評			
可動域改善 疼痛に著効					

担当医師 金 谷 文 則

記入年月日 1996年12月

患者名	A. M	性別	女	年齢	68才
病 名 及 び 所 見					
左肩インピンジメント症候群 特に起因なし、左肩、左上腕近位外側にかけての痛みあり。 肩外転90° からの外施において痛みが強い。 可動域制限は痛みのため軽度認める。					
※ テクトロン使用前の簡単な治療経過					
特になし					
※治療効果及び評価。 A. B. C. Dの4段階評価。 ※A～非常に良い。 B～良い。 C～どちら共不明。 D～効果無し。					
1回目以降より運動時痛が半減している。 ①					
治療回数	3回	総 評			
可動域制限 疼痛に著効					

担当医師 金 谷 文 則

記入年月日 1996年12月

患者名	R. I	性別	女	年齢	54才
病 名 及 び 所 見					
右肩関節周囲炎 夜間痛、運動痛を伴う右肩関節外転、伸展、挙上制限を認める。					
※ テクトロン使用前の簡単な治療経過					
他院にて痛み止めの注射、内服薬処方されるも症状改善せず 症状強くなったため来院す。					
※治療効果及び評価. A. B. C. Dの4段階評価。 ※A～非常に良い. B～良い. C～どちら共不明. D～効果無し.					
夜間痛の軽減、上腕部への放散痛は半減している。 可動域制限残存するも以前に比べ回復傾向にある。 ⑧					
治療回数	18回	総 評			
注射、内服無効例にも有効であった。					

担当医師 金 谷 文 則

記入年月日 1996年12月

患者名	E. I	性別	男	年齢	69才
病 名 及 び 所 見					
左肩関節周囲炎・変形性頸椎症 両手指関節のシビレ、痛み出現後、左前腕～上腕に疼痛出現したため 肩挙上困難となっている。 可動域制限1／2あり。					
※ テクトロン使用前の簡単な治療経過					
なし					
※治療効果及び評価。A. B. C. Dの4段階評価。 ※A～非常に良い。B～良い。C～どちら共不明。D～効果無し。					
左肩～上腕部にかけての痛みは軽減している。 可動域制限は拘縮が強かったため他動的に30° 程度改善 ⑧					
治療回数	13回	総 評			
疼痛に対しては著効。可動域制限にはやや有効					

担当医師 金 谷 文 則

記入年月日 1996年12月

患者名	S. H	性別	男	年齢	36才
病 名 及 び 所 見					
左肩腱板損傷 インピンジメント症候群 有痛弧肩45～110° で強いが可動域制限は認めない。					
※ テクトロン使用前の簡単な治療経過					
他院にて内服薬処方のみ 症状改善せず					
※治療効果及び評価. A. B. C. Dの4段階評価。 ※A～非常に良い. B～良い. C～どちら共不明. D～効果無し.					
収縮痛を含めほぼ消失し腱板トレーニングへとスムーズに移行できた。					
①					
治療回数	6 回	総 評			
著効					

担当医師 金 谷 文 則

記入年月日 1996年12月

患者名	S. M	性別	男	年齢	73才
病 名 及 び 所 見					
左肩腱板損傷（部分断裂） 運動痛強く、90° 以上肩挙上できない。 上腕部～前腕部にかけて鈍痛あり。					
※ テクトロン使用前の簡単な治療経過					
なし					
※治療効果及び評価. A. B. C. Dの4段階評価。 ※A～非常に良い. B～良い. C～どちら共不明. D～効果無し.					
痛みによるスパズムが施行後軽減した。 関節可動域制限も痛みを起因とするものであったため、 ROMもほぼ正常域まで改善した。					
①					
治療回数	6回	総 評			
著効					

担当医師 金 谷 文 則

記入年月日 1996年12月

患者名	M. N	性別	男	年齢	34才
病 名 及 び 所 見					
右片麻酔 右肩の運動痛及び可動域制限					
※ テクトロン使用前の簡単な治療経過					
※治療効果及び評価。 A. B. C. Dの4段階評価。 ※A～非常に良い。 B～良い。 C～どちら共不明。 D～効果無し。					
運動痛はいずれの方向にもほぼ消失し、可動域制限も改善 ①					
治療回数	20回	総 評			
除痛、可動域改善に著効					

担当医師 金 谷 文 則

記入年月日 1996年12月

患者名	K. S	性別	女	年齢	74才
病 名 及 び 所 見					
右肩インピンジメント症候群 右肩関節夜間痛、外旋時に痛みを伴う可動域制限有り。					
※ テクトロン使用前の簡単な治療経過					
数回 肩関節注射を行う					
※治療効果及び評価. A. B. C. Dの4段階評価。 ※A～非常に良い. B～良い. C～どちら共不明. D～効果無し.					
外旋時の痛みの改善を認めるが、冷えると痛み再発する。 ㊶					
治療回数	26回	総 評			

担当医師 金 谷 文 則

記入年月日 1996年12月

患者名	T. F	性別	男	年齢	56才
病 名 及 び 所 見					
左肩関節周囲炎 運動痛を伴う可動域制限 頸部伸筋群の過緊張					
※ テクトロン使用前の簡単な治療経過					
※治療効果及び評価. A. B. C. Dの4段階評価。 ※A～非常に良い. B～良い. C～どちら共不明. D～効果無し.					
治療後は、疼痛、運動痛とも半減するが事務職のため長時間の仕事後再発する。 ⑧					
治療回数	18回	総 評			
疼痛、運動痛の改善に有効					

担当医師 金 谷 文 則

記入年月日 1996年12月

患者名	G. K	性別	男	年齢	56才																				
病 名 及 び 所 見																									
両肩関節拘縮 インピンジメント症候群																									
※ テクトロン使用前の簡単な治療経過																									
H 8 初め頃から左右同時に痛みが出現。ハリ、灸に通ったが効果なし。 糖尿病コントロールのため当院に入院したため、リハビリ指示が出された。 <table> <tr> <td>開始前</td><td>可動域</td><td>R</td><td>L</td></tr> <tr> <td></td><td>肩関節屈曲</td><td>170痛みあり</td><td>170痛みあり</td></tr> <tr> <td></td><td>外転</td><td>80痛みあり</td><td>85痛みあり</td></tr> <tr> <td></td><td>外旋</td><td>50痛みあり</td><td>55痛みあり</td></tr> <tr> <td></td><td>内旋</td><td>25痛みあり</td><td>40痛みあり</td></tr> </table>						開始前	可動域	R	L		肩関節屈曲	170痛みあり	170痛みあり		外転	80痛みあり	85痛みあり		外旋	50痛みあり	55痛みあり		内旋	25痛みあり	40痛みあり
開始前	可動域	R	L																						
	肩関節屈曲	170痛みあり	170痛みあり																						
	外転	80痛みあり	85痛みあり																						
	外旋	50痛みあり	55痛みあり																						
	内旋	25痛みあり	40痛みあり																						
※治療効果及び評価。 A. B. C. Dの4段階評価。 ※A～非常に良い。 B～良い。 C～どちら共不明。 D～効果無し。																									
12/ 2	可動域	R	L																						
	肩関節屈曲	170痛みあり	180痛みあり																						
	外転	90痛みあり																							
	外旋	65痛みあり	75痛みあり																						
	内旋	60痛みあり	55痛みあり																						
プログラム、# 1 ホットパック、# 2 テクトロン、# 3 可動域訓練																									
⑧																									
治療回数	12回	総	評																						
可動域の改善は認められるが、まだ痛みが強い テクトロンなしで可動域訓練を行うと、痛みが強く訓練効果が低い。																									

担当医師 金 谷 文 則

記入年月日 1996年12月

患者名	Y. Y	性別	男	年齢	59才								
病 名 及 び 所 見													
左肩関節拘縮													
※ テクトロン使用前の簡単な治療経過													
H 8. 10. 22 4～5ヶ月前より生じた paint が徐々に増強。 糖尿病治療で入院したのを契機にリハビリ指示される。当初よりテクトロン使用 <table> <tr> <td>肩関節屈曲</td><td>100痛みあり</td></tr> <tr> <td>外転</td><td>50°</td></tr> <tr> <td>内旋</td><td>40°</td></tr> <tr> <td>外旋</td><td>5°</td></tr> </table>						肩関節屈曲	100痛みあり	外転	50°	内旋	40°	外旋	5°
肩関節屈曲	100痛みあり												
外転	50°												
内旋	40°												
外旋	5°												
※治療効果及び評価. A. B. C. Dの4段階評価。 ※A～非常に良い. B～良い. C～どちら共不明. D～効果無し.													
11. 19日 可動域 <table> <tr> <td>肩関節屈曲</td><td>160° P +</td></tr> <tr> <td>外転</td><td>110° P +</td></tr> <tr> <td>外旋</td><td>15° P +</td></tr> <tr> <td>内旋</td><td>60° P +</td></tr> </table> ①						肩関節屈曲	160° P +	外転	110° P +	外旋	15° P +	内旋	60° P +
肩関節屈曲	160° P +												
外転	110° P +												
外旋	15° P +												
内旋	60° P +												
治療回数	8 回	総 評											
治療は継続中。テクトロンにより痛み減少。かなりの可動域改善が見られた。													